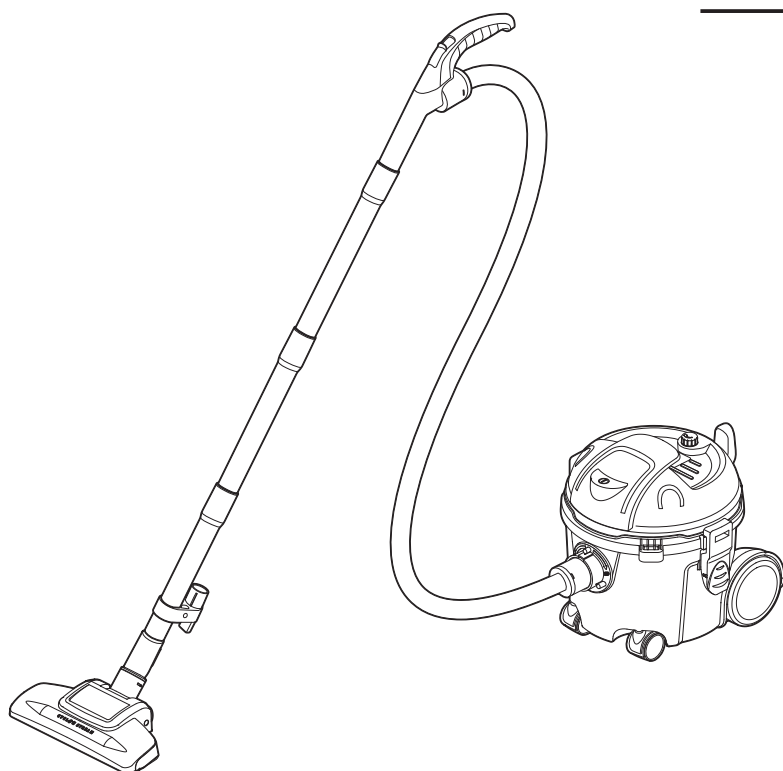


乾式バキュームクリーナー GC-D1

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見るできるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用前に

安全上の注意	2
使用上のお願い	3
各部の名称と組み立てかた	4

取り扱いかた

使いかた	6
収納のしかた	8
ごみを捨てる	9
お手入れのしかた	11

こんなときには

故障かな？と思ったら	14
仕様	15
保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

安全上の注意

使用する前に、この「安全上の注意」をよくお読みになり正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味



.....
してはいけない「禁止」内容です。



.....
しなければならない「強制」内容です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある
内容を示しています。



必ず実施

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
発煙、発火、感電のおそれがあります。

〔異常の例〕

- ・スイッチを入れても運転しない
- ・こげくさいにおいがする
- ・電源プラグ、電源コードが異常に熱くなる
- ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・運転中、時々止まる
- ・運転中、異常な音がする
- ・ホースが破れている
- ・触れると電気を感じる

- お買い上げの販売店またはアイリスコールか修理コールにお問い合わせください。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
ショートによる発火・感電の原因になります。
- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
感電・故障の原因になります。



禁止

- 灯油・ガソリン・シンナーなどや、火の気のあるもの、トナーなどの引火性・爆発性・発火性の液体・気体・粉じん・霧・煙などのそばで使ったり、吸わせたりしない
- 水は絶対に吸わせない
火災や感電の原因になります。
※このクリーナーは乾式です。また、防じん・防爆構造ではありません。

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う



必ず実施

- 電源は、交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災・感電の原因になります。
- 電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付いているときは、乾いた布でよく拭き取る
湿気などで絶縁が低下し、発火・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる発火・感電の原因になります。



禁止

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる発火・感電の原因になります。
- 電源コードはたばねて通電しない
火災の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。
- 電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



分解禁止

- 絶対に分解・修理・改造はしない
発火・けが・異常動作の原因になります。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



禁止

- 火気や高温部に近づけない
本体・電源コードなどが変形・ショートし、発火の原因になります。
また、排気で炎が大きくなり、火災の原因になります。



禁止

- 吸込口をふさいで長時間運転しない
- 排気口をふさがない
過熱による本体の変形・故障・発火の原因になります。



禁止

- 破れたり、破損したフィルターは使わない
故障・性能低下の原因になります。



禁止

- 本体には乗らない
- 子どもに遊ばせない
- ホースを踏んだり、無理に曲げたりしない
けがや本体・ホースの破損の原因になります。



禁止

- 運転中に本体を取り外したりしない
けがや本体破損・故障の原因になります。



必ず実施

- 持ち上げるときは、必ずキャリーハンドルを持つ
本体が落下して、けがや床に傷がつく原因になります。



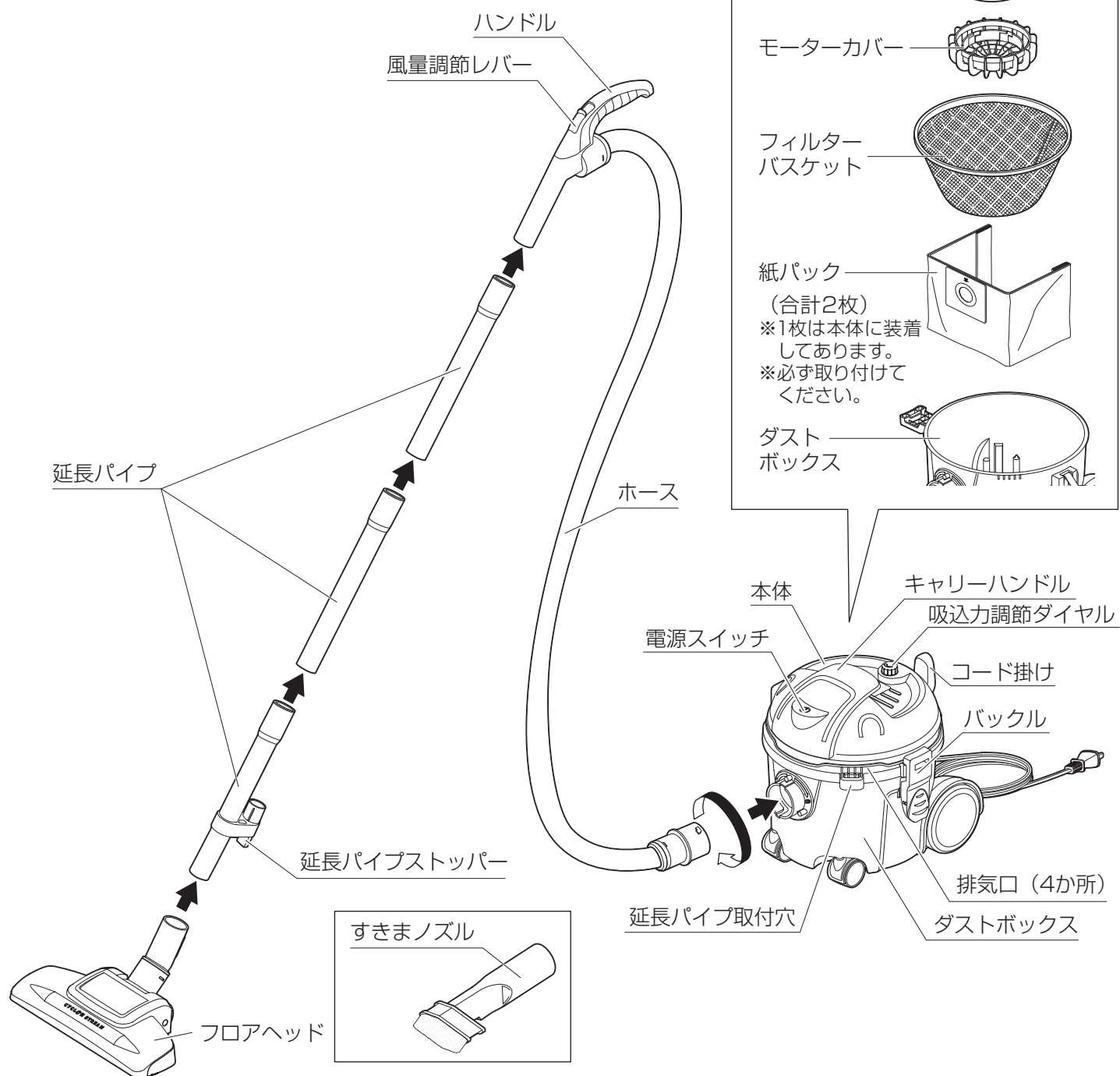
必ず実施

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って引き抜く
電源コードが断線したり、ショートによって発火・感電したりする原因になります。
- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により漏電し、火災・感電の原因になります。

使用上のお願い

- このクリーナーは屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったごみ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・大量の砂
- 多量のごみ・大きなごみ・ビニール類は集中して吸わせないでください。吸引力の低下やホースの詰まりの原因になります。
- フロアヘッド・すきまノズルを床・壁・家具などに強く押し付けしないでください。また、無理に引っ張ったり、柱・壁・家具などにぶつけないでください。傷がついたり破損する原因になります。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。
- 穴があいたり、傷がついたホースは使わないでください。
- 紙パックは必ず取り付けて使用してください。

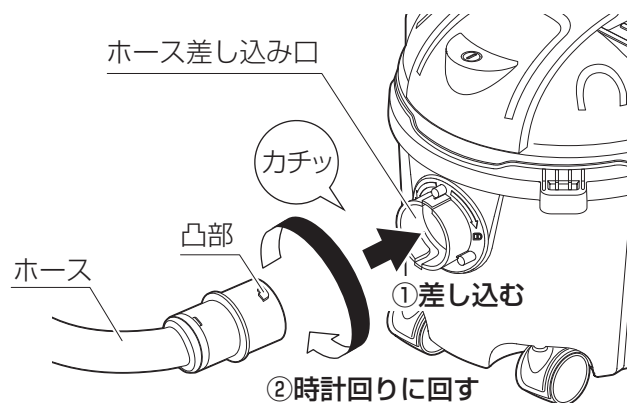
各部の名称と組み立てかた



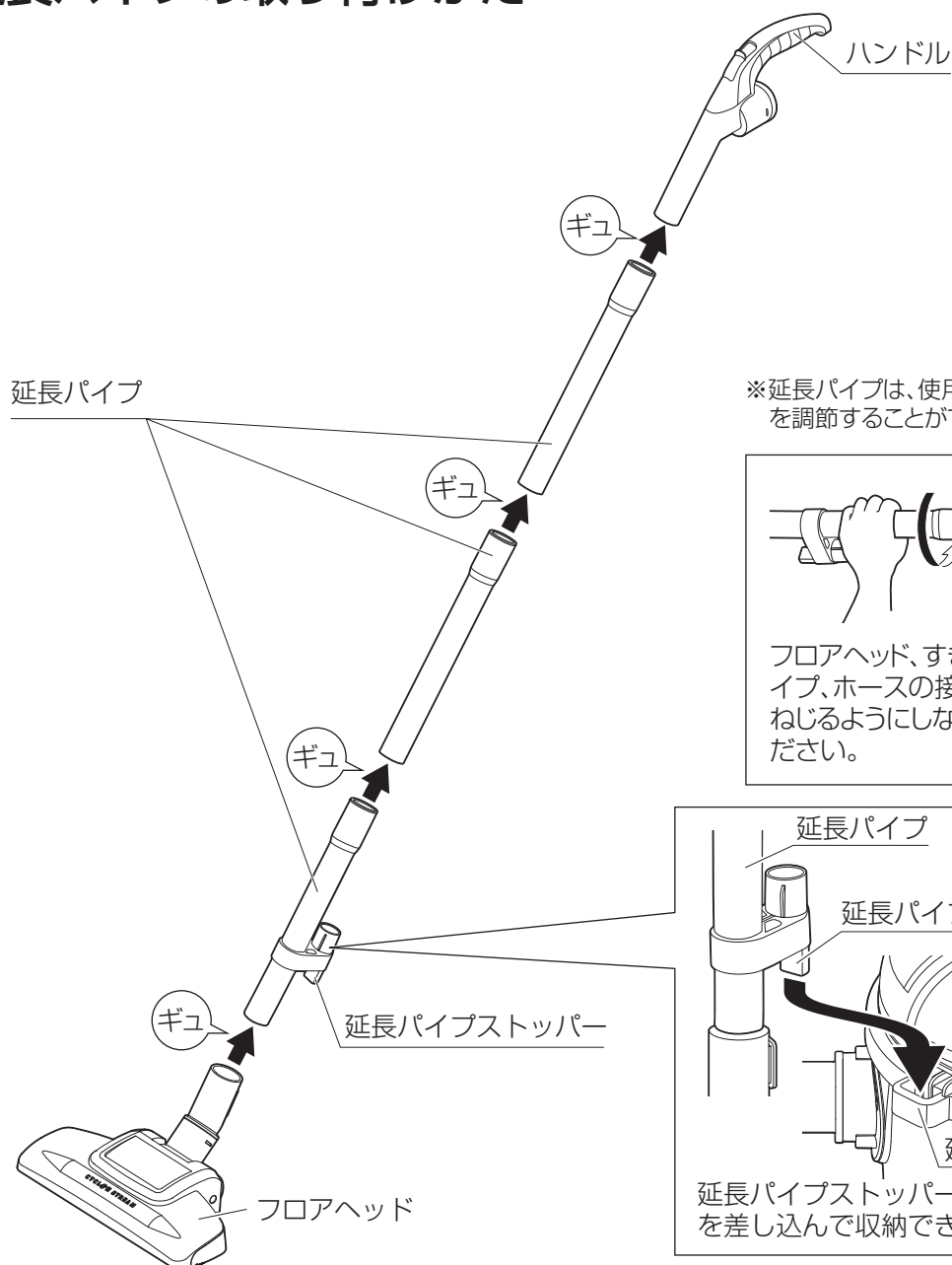
各部の名称と組み立てかた つづき

■ホースの取り付けかた

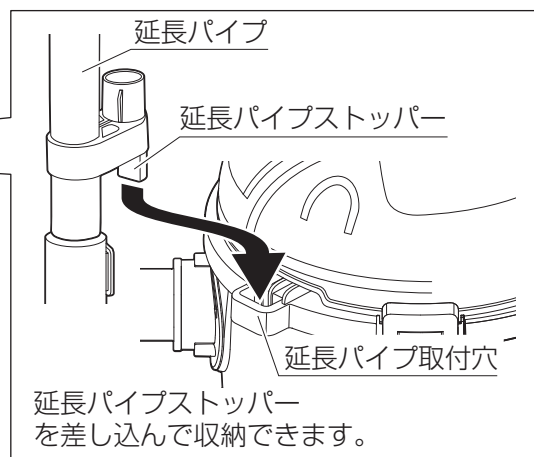
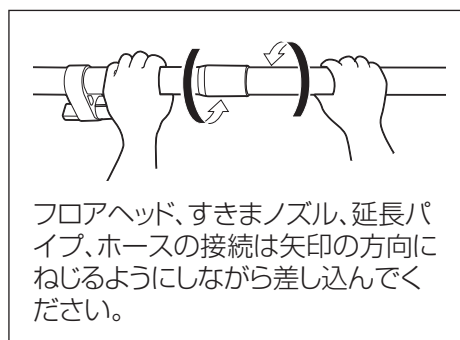
- ① ホースの凸部が真上（と真下）になるようにして差し込みます。
- ② 奥まで差し込んだら、時計回りに止まるまで回します。



■延長パイプの取り付けかた



※延長パイプは、使用する本数によって長さを調節することができます。



使いかた

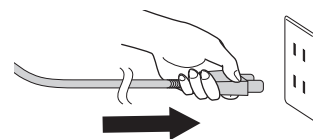
■ 運転のしかた

⚠ 注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったごみ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・大量の砂
- 多量のごみ・大きなごみ・ビニール類は集中して吸わせないでください。
吸引力の低下やホースの詰まりの原因になります。
- 段差がある場合は、キャリーハンドルで本体を持ち上げて移動させてください。
引っ張ったまま移動させると、故障や、建具の傷や破損の原因になります。
- フィルターやホースが目詰まりした状態で使用し続けると、モーターが発熱し、安全のために運転が停止しますが、冷えると復旧します。(P14 参照)

1 電源を入れる

電源プラグをコンセントに差し込みます。



2 掃除する

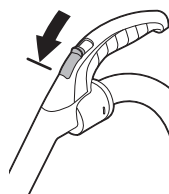
- ① ハンドルの風量調節レバーを操作し、穴を閉じます。
- ② 吸込力調節ダイヤルを、止まるまで時計回りに回します。
- ③ 本体の電源スイッチを押すと運転を開始します。
- ④ 電源スイッチをもう一度押すと、運転が停止します。

● 吸込力の調節

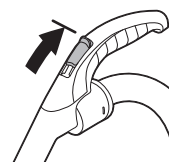
吸込力が強く、フロアヘッドが操作しにくいときは、ハンドルの風量調節レバーを操作し、穴を開けてください。

それでも吸込力が強過ぎる場合は、吸込力調節ダイヤルを反時計回りに回し、吸込力を弱くしてください。

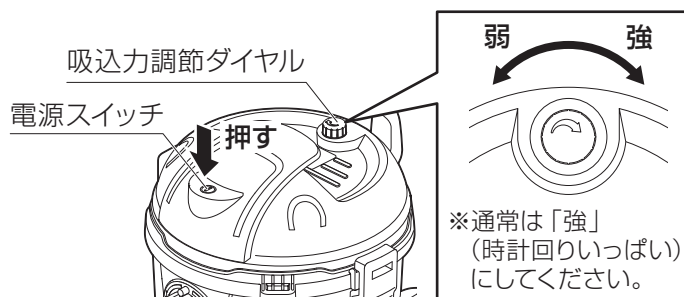
閉じている



開いている

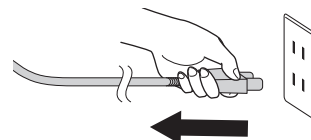


※通常は閉じてください。



3 電源を切る

運転が停止した状態で電源プラグをコンセントから抜きます。



4 電源コードを収納する

電源コードをたばねて、コード掛けに掛けます。
(P8 参照)

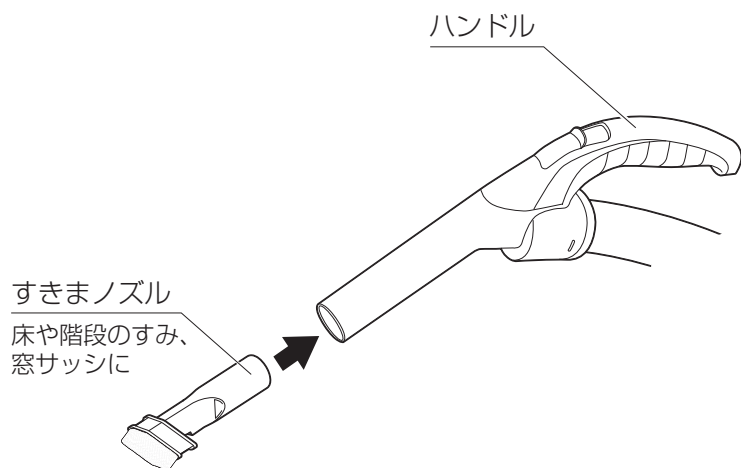
⚠ 注意

- 必ず電源プラグを持ってコンセントから引き抜いてください。
- 使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したまま放置しないでください。

使いかた つづき

■すきまノズルについて

ハンドルや、延長パイプに取り付けて使用します。



※すきまノズルは先端ブラシを取り外すことができます。



⚠ 注意

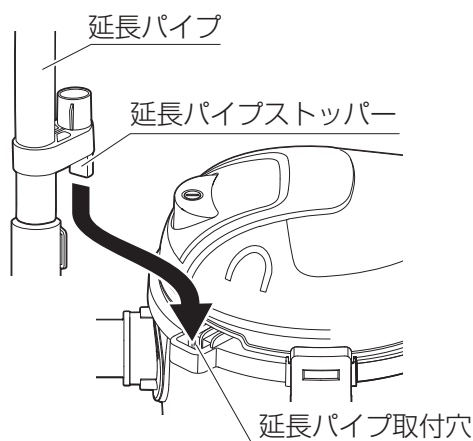
- すきまノズルを床・壁・家具などに強く押し付けたりぶつけないでください。傷がついたり破損したりする原因になります。

収納のしかた

⚠ 注意

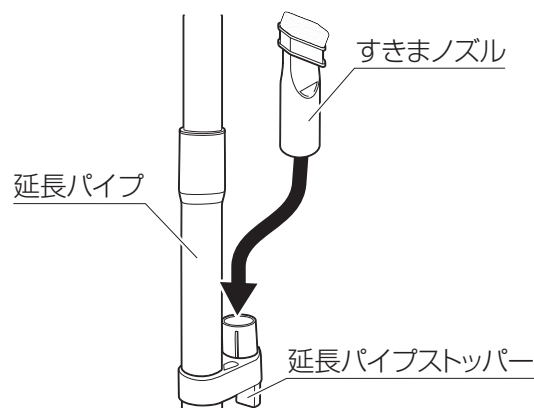
- 使用後は、電源コードは必ずたばねて本体のコード掛けに掛けてください。小さいお子様などが電源コードで遊ぶと大変危険です。
また電源プラグを誤って踏んだりするとけがの原因になります。

延長パイプストッパーを延長パイプ取付穴に差し込みます。

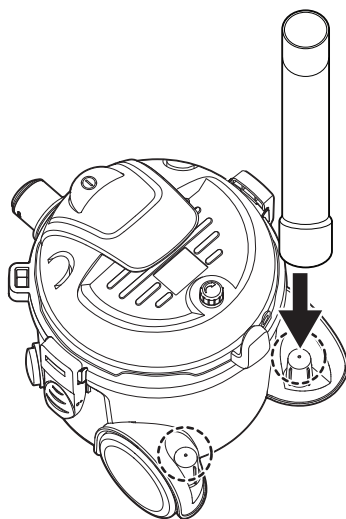


すきまノズルを延長パイプの延長パイプストッパーに収納します。

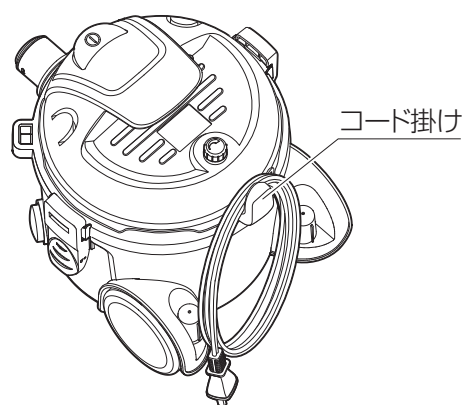
※ 延長パイプも収納できます。



○の部分にもすきまノズル、延長パイプを収納できます。

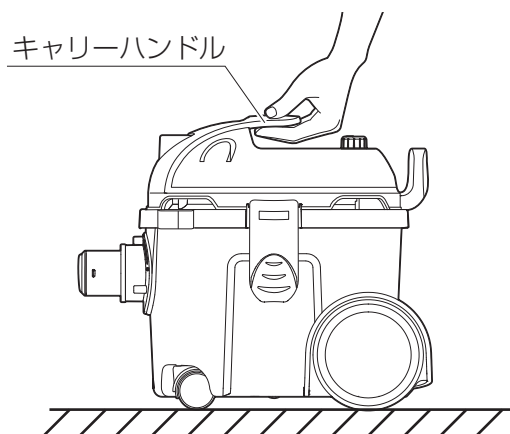


コードをたばね、コード掛けに掛けます。



⚠ 注意

- 持ち運ぶ際には、必ずバックルが確実に掛っていることを確認してから、キャリーハンドルを持って持ち上げてください。
本体が落下し、けが・故障の原因になります。



ごみを捨てる

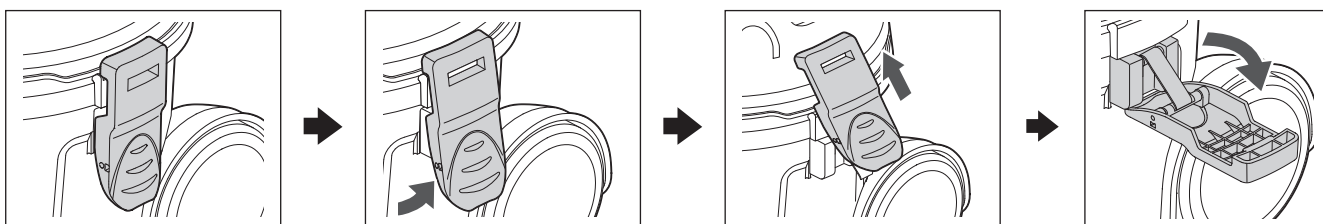
■ダストボックスからごみを捨てる

⚠ 注意

- 安全のために、本体をダストボックスから取り外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 運転中に本体を取り外さないでください。
- 本体をダストボックスに取り付けるときは、2つのバックルを本体のフックに確実に掛けてください。

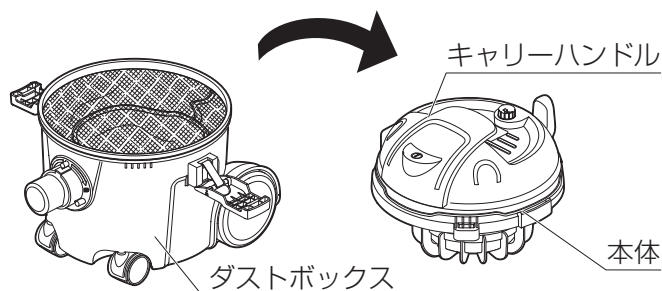
1 バックルを外す

- ① 左右のバックルの下の部分を開き、
- ② 持ち上げ、
- ③ 外側に倒します。



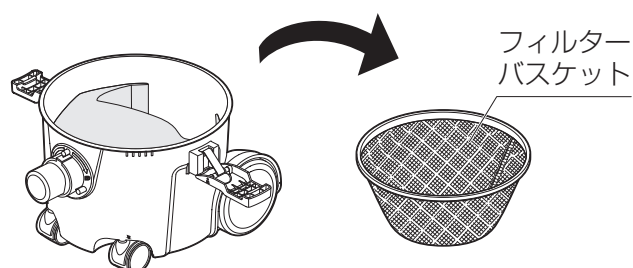
2 本体を取り外す

※ バックルを外さずに無理に取り外さないでください。



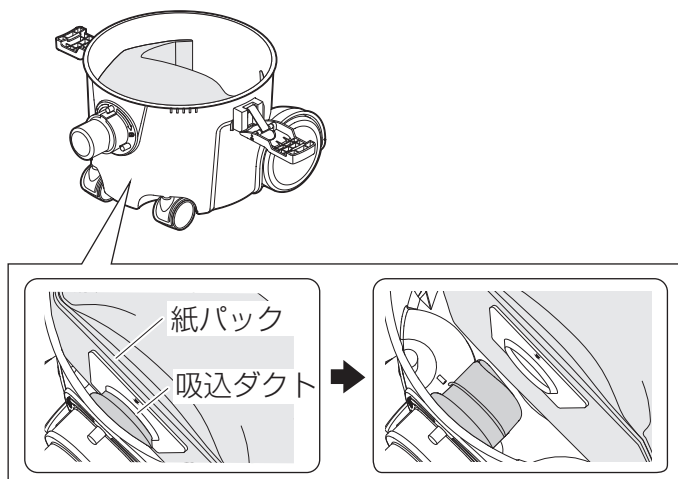
3 フィルターバスケットを取り外す

ダストボックスからフィルターバスケットをゆっくり取り外します。

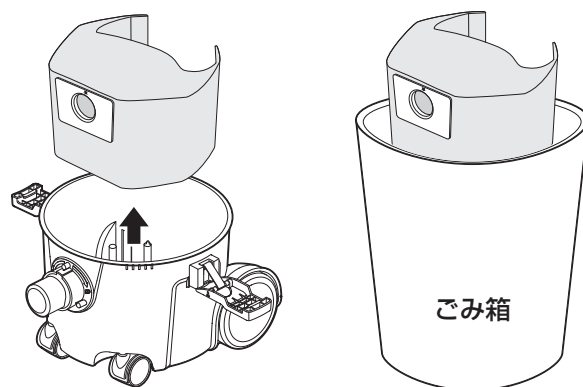


4 紙パックを取り外す

- ① 紙パックを吸込ダクトから引き抜きます。



- ② 紙パックの吸込口からごみが落ちないように取り出して廃棄します。

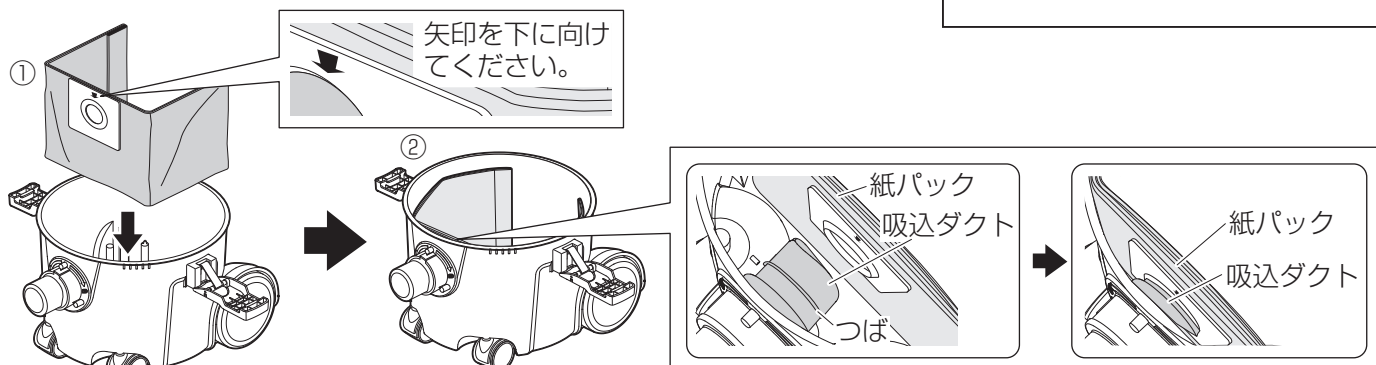


ごみを捨てる つづき

5 新しい紙パックを取り付ける

- ① 紙パックをダストボックスに差し込みます。
- ② 紙パックの吸込口を吸込ダクトの奥までかぶせます。

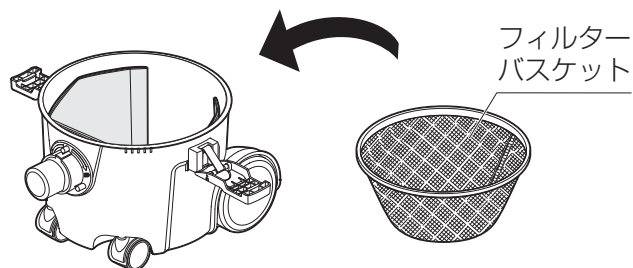
紙パックは必ず取り付けて使用してください。



※紙パックの吸込口のゴムが吸込ダクトのつばの部分を乗り越えるまでかぶせてください。

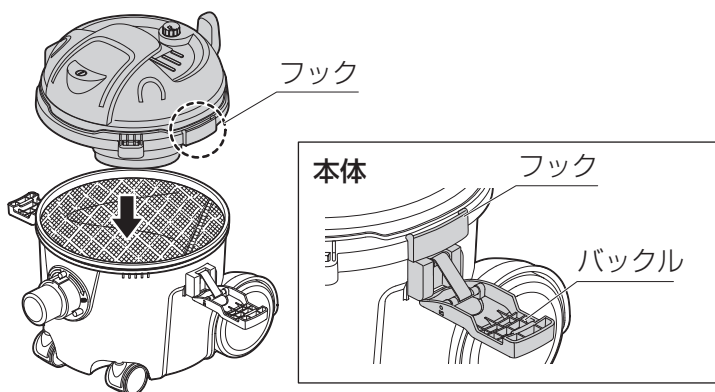
6 フィルターバスケットを取り付ける

※中央がくぼむようにしてください。



7 本体を取り付ける

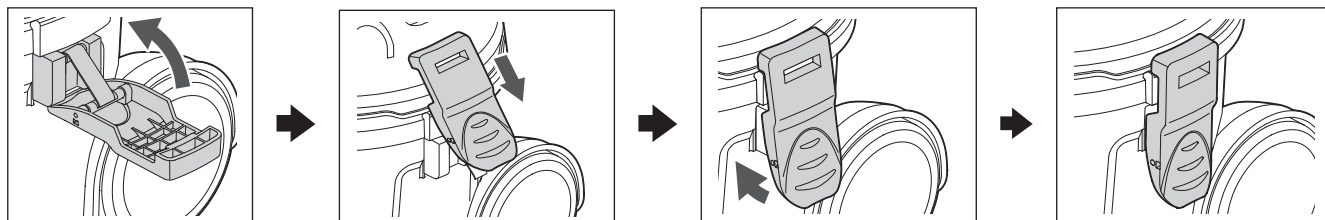
本体の向きを間違えずに載せてください。
※本体の左右のフックをバックルの取り付け位置に合わせてください。



8 バックルで固定する

- ① バックルを持ち上げ

- ② 下部を閉じます。
※バックルが確実に本体のフックに掛っていることを確認してください。



お手入れのしかた

⚠ 警告

- お手入れするときには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

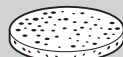
⚠ 注意

- フィルター類はこまめにお手入れをしてください。ほこりや汚れがたまったらそのまま使用すると、モーターが発熱し故障の原因になります。

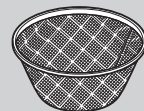
特に、「モーター保護フィルター」と「フィルターバスケット」は、最低2か月に一度はほこりや汚れをきれいに落としてください。

※2か月は目安です。ごみの種類や使用頻度によって、お手入れの頻度は異なります。

- 表面が乾いていても内部に水分が残っている場合があります。風通しが良い場所で十分に乾燥させてください。乾燥させないで使用すると、水分がモーターに付着し、故障の原因になります。



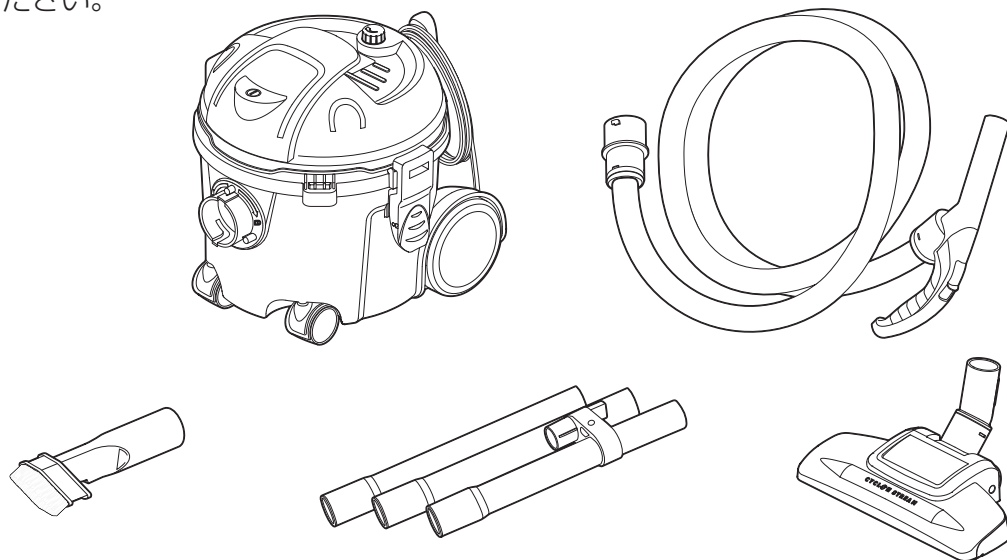
モーター保護フィルター



フィルターバスケット

■本体、付属品のお手入れ

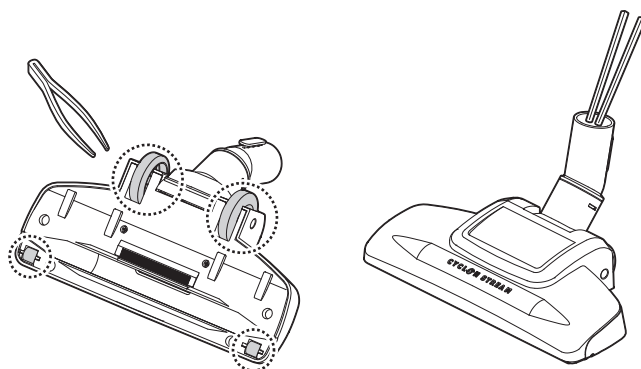
布に水または薄めた中性洗剤を含ませ、十分によく絞ってから拭いてください。



■フロアヘッドのお手入れ

○部からみついた毛・糸くずはピンセットなどで取り除いてください。表面は、布に水または薄めた中性洗剤を含ませ、十分によく絞ってから拭いてください。

フロアヘッド内部にゴミがたまり、吸引力が落ちる場合があります。わりばしやピンセットで定期的に取り除いてください。

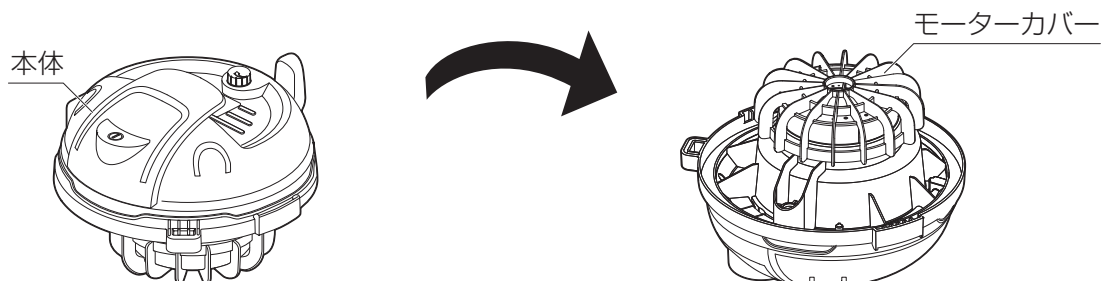


お手入れのしかた つづき

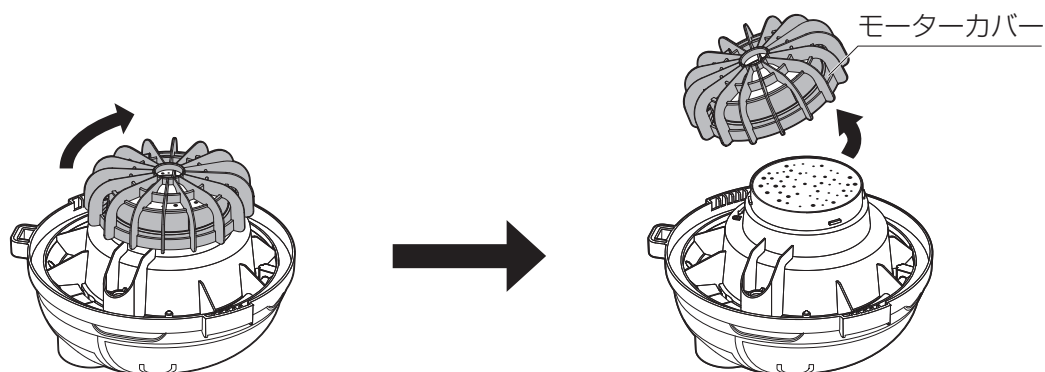
■フィルター類のお手入れ

1 本体をダストボックスから取り外す (P9 参照)

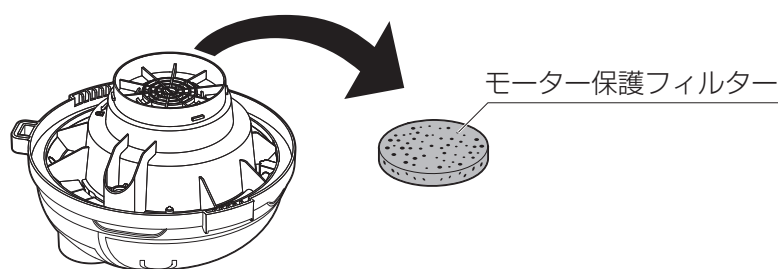
2 本体を裏返して置く



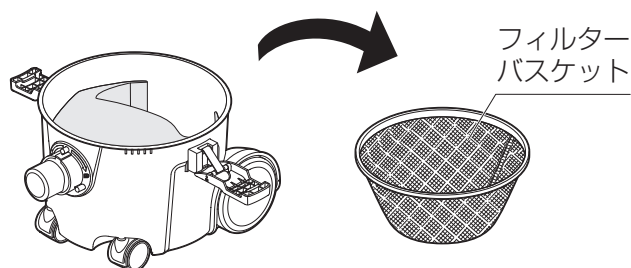
3 モーターカバーを時計回りに回し、取り外す



4 モーター保護フィルターを取り外す



5 ダストボックスからフィルターバスケットを取り外す (P9 参照)

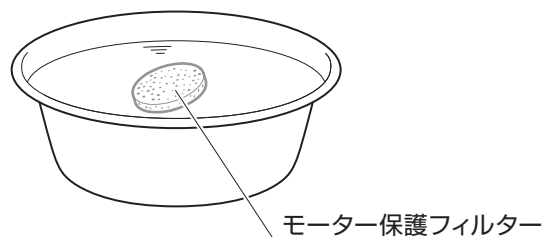


6 ごみを取り除く
各部品を軽くたたきながら、ごみを落とします。

お手入れのしかた つづき

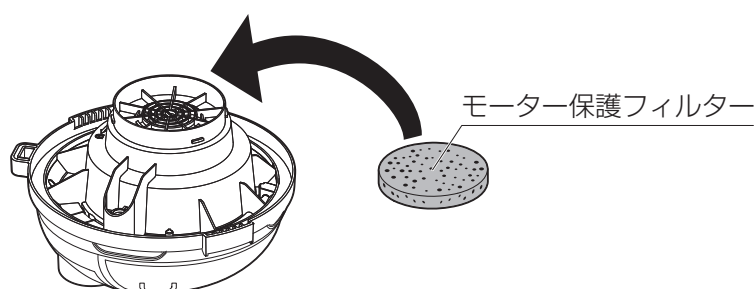
7 モーター保護フィルターを水洗いする

水または中性洗剤を水で薄めて容器に入れ、フィルターを浸けて、ゆすいで汚れを落としてください。中性洗剤を使ったあとは、必ず水でゆすいでください。



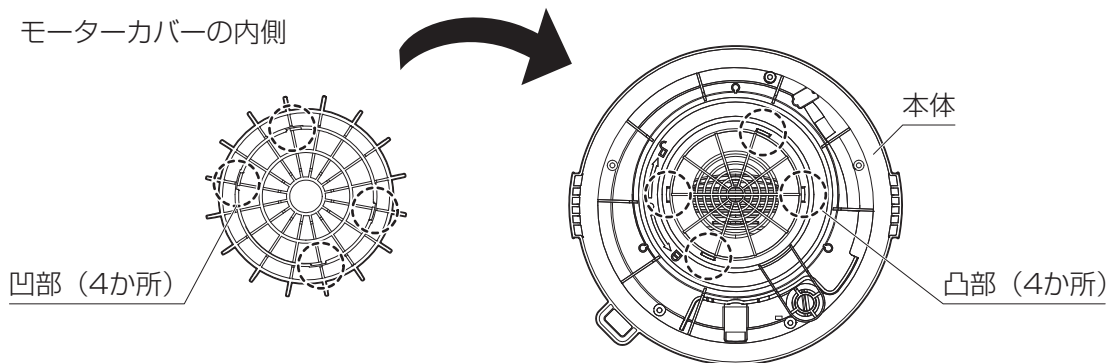
8 モーター保護フィルターを（日陰げで）十分に乾燥させる

9 モーター保護フィルターを本体に取り付ける



10 モーターカバーを取り付ける

モーターカバーの4か所の凹部を本体の凸部に合わせてはめ込み、止まるまで反時計回りに回し、取り付けます。



11 フィルターバスケットをダストボックスに取り付ける (P10 参照)

※ モーター保護フィルター、モーターカバー、フィルターバスケットは必ず取り付けて使用してください。破損したり、紛失したりしたときは、アイリスコールにご連絡ください。

12 本体をダストボックスに取り付ける (P10 参照)

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置	参照ページ
運転しない	● コンセントに電源プラグが正しく接続されていない ● フィルター類にごみやほこりが溜まっている	● 電源プラグをしっかりと再接続する ● フィルターをお手入れする ● 詰まっているごみを取り除く ● 保護装置の説明にしたがい処置をする	● P6、11～14 参照
吸引力が弱い	● フロアヘッド、延長パイプ、ホースに詰まりがある ● 紙パックにごみでいっぱい、目詰まりしている ● フィルター類にごみやほこりが溜まっている ● 本体がダストボックスにきちんと取り付けられていない	● フロアヘッドや延長パイプの中を点検し、詰まっているものを取り除く ● 紙パックを交換する ● フィルターのお手入れをする ● ダストボックスから本体を取り外し、取り付け直してから再度確認する	● P9～13 参照
運転音が大きくなった	● フィルターの汚れがひどい ● フロアヘッドの吸込口やすきまノズルに大きなごみが詰まっている	● フィルターをお手入れする ● 詰まっているごみを取り除く	

保護装置について

フィルターやホースが目詰まりした状態で使用し続けるとモーターの過熱防止のため保護装置が働き、電源を入れても一時的に電源が入らなくなります。

<処置のしかた>

1. 電源プラグをコンセントから抜く。
2. 紙パックを交換し、フィルター類をお手入れする。(P9～P13 参照)
3. フロアヘッド、延長パイプ、ホースなどに詰まりがないことを確認する。(P11 参照)
4. 涼しい場所におく。

約1時間後、保護装置が解除され再び使用できます。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

- ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

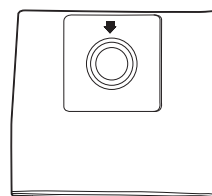
電 源	AC100V 50Hz/60Hz	質 量	約 5.3kg(フロアヘッド、延長パイプ、ホース含む)
消 費 電 力	1100W	本 体 寸 法	幅 333 × 奥行 337 × 高さ 320mm
吸 込 仕 事 率	179W		
集 塵 容 積	5 L	コ ー ド 長	約 8m

セ ャ ッ ト 内 容	本体、フロアヘッド、すきまノズル、延長パイプ（3本。うち1本は延長パイプストッパー付）、紙パック（合計2枚）／フィルターバスケット／モーターカバー／モーター保護フィルター（各1個本体に取り付け済み）、ホース、取扱説明書（本書）
-------------	---

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

■ 消耗部品について

紙パック、フィルターバスケット、モーター保護フィルターは消耗品です。
お手入れしても汚れが取れなくなった場合は、交換してください。
消耗部品のお求めは、お買い上げの販売店または、アイリスコールまでご連絡ください。



別売品 紙パック（10枚入り）
GPB-1

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

乾式バキュームクリーナー GC-D1

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間		お買い上げ日より：1年間	
年 月 日				ただし、消耗品を除く	
お 客 様	お名前			※ 販 売 店	住所・店名
	ご住所 〒				
	電話() -				
			電話() -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール 通話料無料

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール 通話料無料

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 （年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは
通信料無料

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは

<http://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください